

この夏も!

エコ生活を すすめよう

エネルギーを賢く使う

夏になると、電気などのエネルギー消費が多くなります。このページでは、今夏の電力事情とエネルギーを無駄なく使う生活を続けていくための取り組みなどを紹介します。

このページに関するお問い合わせは、環境計画課 ☎211-2877

昨年度の
成果

皆さんの取り組みで 電力不足を回避できました

市が昨年度実施した「節電大キャンペーン」では、5万人を超える市民が節電を宣言しました。参加した世帯の電力量の削減率は、前年比平均で夏16.4%、冬20.1%。一人一人の取り組みが、電力不足の危機を回避することにつながりました。

OFF!



今夏の
電力事情

この夏も無理のない範囲で 節電が必要です

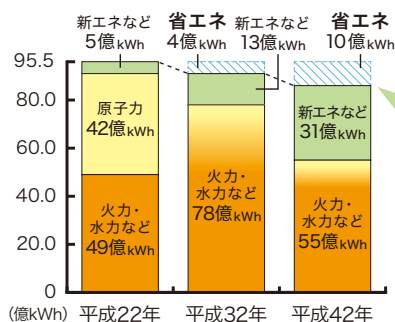
節電の定着により、政府と北海道電力は今夏必要な電力を確保できると予想しています。そのため計画停電はありませんが、節電の要請期間は設けられており、今後も継続的な節電の取り組みが必要です。

【節電】 7/1(月)～9/30(月)までの平日
【要請期間】 9時～20時 ※8/13(火)～15(木)を除く

節電を継続するとともに、 新エネルギーへの転換が必要です

昨年5月に泊発電所の運転が停止して以降、火力発電の割合が増加しています。原子力発電に頼らず、環境に優しい社会を実現するためには、省エネを意識した生活を続けるとともに、二酸化炭素の排出が少ない太陽光発電などの新エネルギーへの転換を進める必要があります。

■市のエネルギー転換の試算 (消費電力量: kWh)



原発に依存しない社会を目指すには、省エネの継続と新エネの普及が欠かせません

(億kWh) 平成22年 平成32年 平成42年
※グラフ上の数値は四捨五入しているため、合計は一致しません
出典: 平成24年度札幌市エネルギー転換調査

市も引き続き節電に取り組めます

今夏も市有施設の照明の間引きなど、節電・省エネの取り組みを実施し、2010年夏の最大需要電力112,490kWと比べて10.4%以上の節電を目指します。

今夏の市の取り組み	削減電力	削減率
清掃工場の売電増、設備運転調整など	2,575kW	2.3%
地下鉄駅の換気風量抑制、照明間引きなど	1,642kW	1.5%
下水道・水道施設ポンプ夜間運転シフトなど	2,273kW	2.0%
庁舎、市民利用施設、学校の照明間引きなど	5,256kW	4.7%
合計	11,746kW	10.4%

※削減率は各取り組みごとに四捨五入しているため、合計は一致しません



住宅の新築などの際に検討してみませんか?

地球に優しい 太陽光発電

自宅で電気をつくる太陽光発電の普及が進んでいます。発電した電気は自宅で使用するだけでなく、余った電気は電力会社に売ること(売電)ができます。

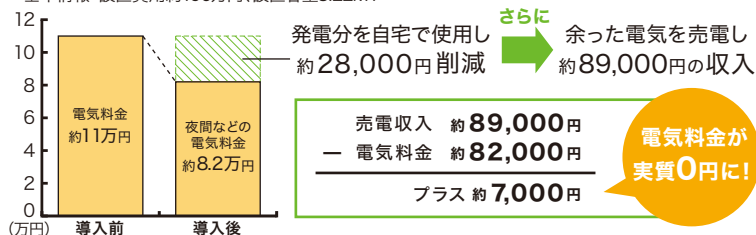
※市では導入時の費用を一部補助しています。詳しくは区役所などで配布中の「エネルギーecoプロジェクト」のパンフレットかホームページをご覧ください。札幌エネルギーecoプロジェクト

詳細 エコエネルギー普及推進課 ☎211-2872

市内で設置した方の実例を紹介

■太陽光発電導入前後の年間電気料金の比較

基本情報: 設置費用約190万円、設置容量3.22kW



※本例は一例です。導入時は販売業者とよく相談しましょう。